

# 今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

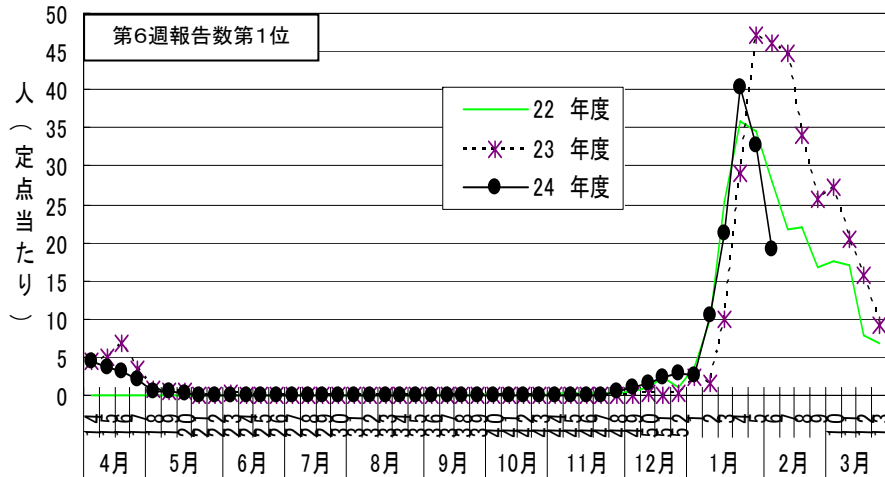


## 平成25年2月4日（月）～2月10日（日）〔平成25年第6週〕の感染症発生状況

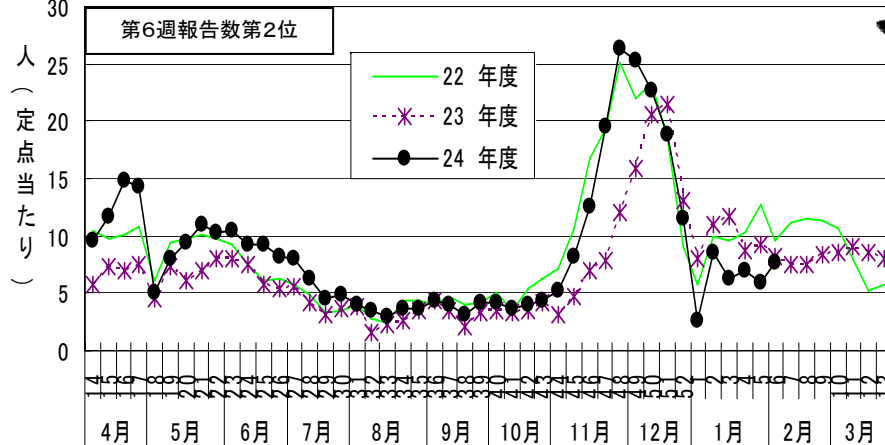
第6週で定点当たり報告数の多かった疾病は、1)インフルエンザ 2)感染性胃腸炎 3)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。インフルエンザは定点当たり19.20人と前週（32.80）より患者報告数は減少し、例年より低いレベルで推移しています。感染性胃腸炎は定点当たり7.76人と前週（5.91）より患者報告数は増加しましたが、例年より低いレベルで推移しています。風しんの届出が10件あり、平成24年6月以降、例年を大きく超える流行が続いているため、感染予防対策が重要です。



インフルエンザ発生状況(3年間)



感染性胃腸炎発生状況(3年間)



## 風しんの予防接種を積極的に！！～風しんの流行に注意～

昨年6月以降、全国的に風しんの患者届出数が非常に多くなっており、市内においても例年のないペースで患者が発生しています(グラフ参照)。今後も更に流行が広がる恐れがありますので、予防接種を徹底するなどの風しんに対する一層の対策が重要です。

### 先天性風しん症候群に注意！

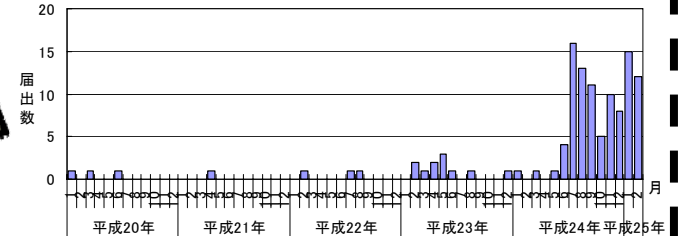
妊娠初期の女性が風しんにかかると、胎児が風しんウイルスに感染し、難聴、心疾患、白内障などの障害を持った赤ちゃんが生まれる可能性があります。

これらの障害を先天性風しん症候群といいます。



妊婦への感染を防ぐためには、妊娠可能年齢の方や妊婦の同居家族の方が風しんの予防接種を受けることが最も効果的です。風しんの予防接種を受けたことがなく、風しんにかかったことがない方は、風しんの予防接種を検討しましょう。

川崎市における月別風しん届出数



全国における風しん届出数(H24.1～H25.2)

